

わたしは

ダマサレナイ!!

第54話



ATTENTION

出会い系サイトやマッチングアプリを きっかけにした投資詐欺が続発

このコーナーで紹介するマンガは、実際に起きた事件を基に、「だましのシーン」を再現したものです。
「私だけは大丈夫」なんて甘く考えていませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。

監修/NACS（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）消費者相談室/大井菜子 マンガ/まきのこうじ



1 恋愛話がいつの間にか儲け話に！
出会い系サービスを悪用した投資詐欺

コロナ禍により、食事会などの出会いの場が減少していることから、恋活や婚活といったパートナー探しをオンラインでサポートする、出会い系サイトやマッチングアプリ（以下、出会い系サービス）を利用する消費者が増えています。そうした中、出会い系サービスで知り合った人から、暗号資産を使った海外の投資サイトを紹介されて、投資金をだまし取られるトラブルが続発しています。

被害者は30〜40歳の男性が多く、貯蓄があつて金融機関などからの借入れ能力もあり、暗号資産や投資に興味を持つような人を狙っていると思われます。1件当たりの平均被害金額は約192万円と高額で、1000万円以上をだまし取られたケースもあります。さらに、投資サイトの登録時などに提出した個人情報悪用される危険性もあります。投資サイトが海外事業者の場合、連絡がつかなくなると、返金を受けるなどの被害回復はきわめて困難であるため、未然防止が非常に重要となります。



2 外国人や海外在住者を名乗って
暗号資産の海外投資サイトへ誘導

最近よく見られるだましの流れを紹介します。

1. 外国人や海外在住者を名乗ってアプローチ

写真やプロフィールでとても魅力的に見える人が、出会い系サービスを通じてアプローチしてくることが多く、自ら外国人（実際の被害相談では中国やマレーシアなどアジアの国が多い）や海外在住の日本人と名乗って、すぐに会うことは難しいなどと伝えてきます。

II. 恋愛話でその気にさせる

知り合って最初のころは、「あなたがタイプです」「私



が日本に行ったら会ってほしい」などと好意をちらつかせてその気にさせ、無料通話アプリで頻りに連絡を取り合ううちに、消費者は相手を信用してしまいます。

III. 暗号資産の海外投資サイトを紹介

連絡のやり取りをしばらく続けていると、相手は「将来に向けてお金をためよう」などと言って暗号資産を使った投資に誘い、海外の投資サイトを紹介してきました。「運用の仕方は私が教える」、「私も資金を出す」、「必ず儲かる」などと信用させてその投資サイトに登録させますが、紹介される投資サイトの多くは、詐欺グループの仲間が作った架空サイトです。投資サイト以外では、海外のオンライン宝くじや暗号資産による賭博を勧めてくるケースもありますが、だます手口はほぼ同じです。

IV. 資金の増額を要求

投資を始めた当初は、投資サイトの運用画面では順調に利益が上がっているように見せてきます。そのため、消費者は相手をさらに信用してしまい、「投資額を増やせばもっと利益が上がる」と相手から資金の増額を要求されても、疑うことなく何度も増額してしまふのです。預貯金が無くなり消費者が増額をちゅうちよしても、「借金をしても値上がり益などの儲けですぐ返せるから」とそのかさされ、多額の借金をしてさらに投資額を積み増してしまふケースもあります。

V. 資金も相手も投資サイトも消える

消費者が資金の増額を断るようになると、途端に運用画面で多額の損失が発生したように見せて、相手は「すぐ取り返せるから資金を増額して」と要求してきます。その要求も断ると、さらに相場が下がり、大きな損失を起こしたように見せ、資金が無くなってしまふのです。相手に相談しようとして連絡すると、返信が来なくなり、そのうちアカウントが消えてしまふいます。投資サイトにアクセスできなくなっているケースも多



く、気づいたときにはすべての投資金をだまし取られているのです。



3 出会い系サービスの規約をよく読み うまい儲け話には安易に応じない

このような詐欺行為に遭わないための対策として、出会い系サービスを利用する際には、規約などを事前に確認することが大切です。出会い系サービスは、面識の無い相手への個人情報開示についての注意や、投資などの勧誘の禁止など、独自の規約や安全ガイドを設けていることが多く、違反行為や疑わしい行為を持ちかけてくる相手は避けたほうが良いでしょう。

また、投資に「必ず儲かる」は無いと考えて、そのような話には安易に応じないでください。そして、投資をするなら信頼できる事業者を選ぶようにしましょう。日本の居住者を相手に金融商品取引をする場合は、海外に所在する事業者であっても、金融商品取引業の登録が必要です。暗号資産の取引でも、暗号資産交換業者は金融庁・財務局への登録が義務づけられています。どちらも金融庁のWEBサイトで確認できますので、投資を行う前に登録事業者が確認し、登録事業者の利用をお勧めします。

万が一トラブルに遭ってしまった場合や不安に思うところがある場合は、早めに消費者ホットライン188に相談しましょう。

関連情報

- ・国民生活センター
「出会い系サイトやマッチングアプリ等をきっかけとする投資詐欺にご注意をー恋話(コイバナ)がいつの間にかもうけ話にー」
http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20210218_1.pdf

万一の相談先

- ・消費者ホットライン
☎188 (「いやや!」と覚える)
※最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口につながります。相談受付時間は相談受付先によって異なります。